

これからの交通社会と事故防止

-バス・タクシー・トラック・営業車の安全を考える-

2016年 11月11日 金 13:30-17:30

会場：関西大学東京センター 千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー9階
(JR東日本、東京駅、日本橋口)

参加費
無料

現代社会において、クルマは私たちの生活と社会を支える必要不可欠なものです。しかし、一方で、それは環境負荷や事故など大きな社会的費用を発生させています。交通事故の発生を防止し、被害の低減を進めていくことは安全・安心な社会を創っていく上で、最も重要な課題の一つです。本シンポジウムでは、バス、タクシー、トラックなど営業用自動車の安全問題に焦点をあて、これからの交通社会と事故防止の課題について議論します。

プログラム

総司会 高野 一彦 (関西大学社会安全学部教授)

第1部 13:35~15:10

13:30~13:35 開会挨拶 小澤 守 (関西大学社会安全学部教授)

基調
講演

13:35~14:10

「バス・タクシー・トラックの安全確保の課題」

安部誠治(関西大学社会安全学部教授)

講演

14:10~14:40

「ヒューマンファクターと交通事故の防止」

中村隆宏(関西大学社会安全学部教授)

14:40~15:10

「自動車の運転手アシスト技術はここまで来た—自動運転の今後と安全—」

稲垣敏之(筑波大学副学長・教授)

第2部 15:30~17:30

業界、行政の安全担当者を交えたパネルディスカッション

パネルチェア：安部誠治

パネリスト：伊藤昭人・三澤憲一・樽澤 功・岩井保夫・平井隆志・中村隆宏

■ 学生によるパネル研究発表 12:00~17:30 (於：教室3)

講演者・パネリストプロフィール



安部 誠治

あべ せいじ
関西大学社会安全学部教授
大阪市立大学大学院経営学研究
科後期博士課程中退。専門分野
は公益事業論、事故調査制度論、
事業用自動車事故調査委員会委
員。



中村 隆宏

なかむら たかひろ
関西大学社会安全学部教授
大阪大学大学院人間科学研究科
博士後期課程単位取得後退学。
博士(人間科学)。専門分野は
事故・災害とヒューマンエラー



稲垣 敏之

いながき としゆき
筑波大学副学長・教授
京都大学大学院工学研究科精密工
学専攻博士課程修了。工学博士。
専門分野は人と機械の共生、人間
中心の自動化、システムの信頼性
と安全性



伊藤 昭人

いとう あきひと
全日本トラック協会
副会長・交通対策委
員会委員長



三澤 憲一

みさわ けんいち
日本バス協会理事・
安全輸送委員会委員
長



樽澤 功

たるさわ いさお
全国ハイヤー・タク
シー連合会理事・交通
安全委員長



岩井 保夫

いわい やすお
東京電力エナジーパー
トナー株式会社・安全
品質担当



平井 隆志

ひらい たかし
国土交通省自動車局
安全政策課長

申込方法 / 関西大学社会安全学部ホームページからお申し込みください。 http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/

定員 120名 先着順 10/11締切

※定員になり次第受付を終了させていただきます。

お問い合わせ先 / 関西大学社会安全学部東京シンポジウム事務局 TEL: 072-684-4000 FAX: 072-684-4007 E-mail: ss-sympo@ml.kandai.jp